委託事業実施内容報告書 平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】 実施内容報告書

受託団体名 駒ヶ根市

1. 事業名称

・駒ヶ根市日本語教育事業

2. 事業の目的

・市及び市民団体が運営している日本語教室が協働・連携して、日本語を母語としない外国人に対する効果的な日本 語教育事業を展開する。また、異文化理解力の向上を図り、日本人と外国人とが円滑な市民生活を創出するための 多文化共生のまちづくりを目指す。下記の方針が、年度でどれだけ達成できたかの検証方法を策定する。

- ・日本語初心者である外国籍転入者が学べる場としたい。
- ・ステップアップとして生活していく上で必要な日本語を学べる場としたい。
- ・日本の文化及び日本人と共同で生活するための拠点づくりの場としたい。
- ・日本人も外国人との交流を望む場としたい。

3. 事業内容の概要

・外国人の定住化は永住者、日本人の配偶者等が要因であるが、生活をしていくための最低限の日本語は習得して いる人が多くなっている。一方、第2次産業が中心の当市は日本語初心者である技能実習生を受け入れる工場があ り、個人によって語学力の差があるので、個々に対応する必要がある。

そこで、地域住民との交流及び日本の文化を学ぶことを主にした市日本語教室、日本語の習得を目指す初心者及 び、より深く日常生活に溶け込みたい上級者を対象にした地球人ネットワークインこまがねと連携して事業を展開す る。

- ・取組1…地域住民が集まる公民館で生活する上で必要な日本語を学ぶと共に、地域住民との交流も図る。
- ・取組2…来日して間もない日本語初学者と、一定期間居住している住民双方の異なる日本語能力に個別対応した 指導を図る。
- ・取組3…新たな日本語指導ボランティアを掘り起こし、既存ボランティアと共に日本語指導力の向上を目指す。 ・取組4…住民に向けて母国と受講者自身をPRすることで、日本語能力の向上と住民の日本語学習事業への理解 を目指す。

4. 事業の実施体制について

- ・駒ヶ根市企画振興課(市日本語教室及び地球人ネットワークとの連携調整、ボランティア講習会、募集広報)
- ・赤穂公民館(地域住民と市日本語教室との連携)
- ・地球人ネットワークインこまがね(日本語習得の取り組み) ・長野県看護大学(学生との相互理解を図る)
- ·青年海外協力隊(活動の充実)

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	髙坂 保	駒ヶ根協力隊を育てる会(会長)
2	春原 直美	佐久市市民活動サポートセンター(センター長)
3	宮越 幸代	長野県立看護大学(准教授)
4	茂木 優子	独立行政法人国際協力機構 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
5	藤井 佳代	地球人ネットワークインこまがね(事務局)
6	高森 アナ	地球人ネットワークインこまがね(会長)
7	石場 八重子	駒ヶ根市外国籍市民相談窓口
8	福澤 友美	地球人ネットワークインこまがね(ボランティア)
9	肥野 みさを	駒ヶ根市 赤穂公民館(館長)

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年 9月16日 (水曜日) 15:15~17:15	2	駒ヶ根市役所	・高坂 保 ・春原 直美・宮越 幸代 ・茂木 優子・藤井 佳代 ・高森 アナ・石場 八重子・福澤 友美・肥野 みさを	 1. 今年度事業の概要説明 2. 4月から8月までの事業実施内容の報告 3. 事業実施内容について質疑応答
2	平成27年 12月14日 (月曜日) 10:00~12:00	2	赤穂公民館	・高坂 保 ・春原 直美・宮越 幸代 ・茂木 優子・藤井 佳代 ・高森 アナ・石場 八重子・福澤 友美・肥野 みさを	 9月から11月までの事業実施内容の報告 本事業への日本語指導ボランティアの関わり方 来年度事業について
3	平成28年 3月9日 (水曜日) 14:30~16:30	2	赤穂公民館	・高坂 保 ・春原 直美 ・宮越 幸代 ・茂木 優子 ・藤井 佳代 ・高森 アナ ・石場 八重子・福澤 友美 ・肥野 みさを	 1.12月から2月までの事業実施内容の報告 2.今年度事業の検証 3.来年度事業について 事業計画の詳細を検討

6. 取組についての報告

取組1:地域住民と学ぶ市日本語教室の実施

(1)体制整備に向けた取組の目標

・人が集う赤穂公民館を会場にすることで、地域住民とのコミュニケーションを図る場とする。 ・定住外国人が生活をする上で必要な日本語を学び、習得できるようにする。

(2)取組内容

【外国人・日本人共に参加したくなるようなイベントを通じて日本語を学ぶ】

・年度当初に外国人と市民ボランティアを交えてワークショップ行い、活動の柱を決定する。(料理教室、歴史探索等)・イベントの前段で必要となる日本語や歴史、文化等を学ぶ(グループ学習)。
・受講者から外国人の生活に寄与するニーズを汲み取り、地域の専門家を交えてお互いに学びあう。

【平成25年度に作成した駒ヶ根市日本語学習システム「オリジナル学習教材」を活用してテーマに沿った学習を行う】

・日本の文化や季節の習慣等ゲストに登場してもらって、実体験を交えて実施する。

(3)対象者

・主に駒ヶ根市に在住在勤の外国人及び近隣に居住する外国人

・主に駒ヶ根市に在住在勤の市民ボランティア

(4)参加者の総数 19 人(延べ人数ではなく,受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数

19 人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	1人				
韓国	人	タイ	2人	・ロシア	1人	・アメリカ 1人	
ブラジル	1人	ペルー	6人	•台湾	1人	・コロンビア 1人	
ベトナム	1人	フィリピン	2人	・マレーシア	1人		
ネパール	人	日本	人				

(5) 開催時間数(回数) 39 時間 (全 15 回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年 4月25日(土) 13:00~15:30	2.5	赤穂公民館	17人 (3人)	ワークショップ	受講者と日本語ボランティアを交え て、今年度の取組の柱を協議。	塩澤真洋	氣賀澤博徳
2	平成27年 5月23日(土) 13:00~15:30	2.5	赤穂公民館	7人 (5人)	開講式 ワークショップ	受講者への開講式を実施。 開講式後に今年度の取組の詳細に ついて受講者のみでのワークショッ プを実施。	塩澤真洋	原文子
3	平成27年 6月27日(土) 13:00~15:30	2.5	赤穂公民館	12人 (5人)	ワークショップ ボランティアとの交流	今年度の取組の詳細について受講者のみでのワークショップを実施。 その後、ボランティアと市内案内を 兼ねて交流。	塩澤真洋	原文子 氣賀澤博徳
4	平成27年 7月25日(土) 10:00~16:00	6	赤穂公民館	30人 (6人)	夏の交流会	受講者によるフルーツカーヴィング、 地域講師による浴衣着付け体験、 一品持ち寄り昼食会を通じてボラン ティアや地域住民と交流。	木下喜代子	氣賀澤博徳
5	平成27年 8月1日(土) 13:00~15:00	2	赤穂公民館	6人 (2人)	料理教室事前準備	 8月8日実施の料理教室の事前準備。 	氣賀澤博徳	小林朝子 福澤友美
6	平成27年 8月8日(土) 10:00~13:30	3.5	赤穂公民館	23人 (2人)	料理教室	タイ人受講生による料理教室開催 することで、日常で使用する日本語 学習。	氣賀澤博徳	小林朝子 福澤友美
7	平成27年 8月22日(土) 13:00~16:00	3	赤穂公民館	12人 (5人)	盆栽教室	地域講師(盆栽講師)による盆栽体 験を通じて日本文化と関連用語を学 習。	中原知得	塩澤真洋 原文子
8	平成27年 9月19日(土) 13:00~15:00	2	市内	9人 (7人)	盆栽教室講師 自宅訪問	盆栽講師の自宅を訪問し、盆栽に 関して情報交換を実施。	塩澤真洋	原文子
9	平成27年 9月26日(土) 13:00~15:00	2	赤穂公民館	8人 (6人)	行政番組内容検討 ハロウィンパ ^{°ーティー} 準備	行政番組で日本語教室の取組紹介 を検討するにあたって、内容を検討。 看護大生とのハロウィンパーティーの準備。	塩澤真洋	原文子
10	平成27年 10月31日(土) 13:00~16:00	3	赤穂公民館	18人 (4人)	看護大生による教室 ハロウィーンハ゜ーティー	看護大生による「生活習慣病とラジオ体操」の講義。 ハロウィロンハーティーの実施。	塩澤真洋	原文子
11	平成27年 11月21日(土) 13:00~15:00	2	市内	8人 (4人)	市内の石造物見学	地域講師(博物館館長)による市内 の石造物見学。	氣賀澤進	塩澤真洋 原文子
12	平成27年 12月19日(土) 13:00~15:00	2	赤穂公民館	8人 (2人)	生け花体験教室	地域講師(生け花講師)による生け 花体験を通じて日本文化と関連用語 を学習。	宮澤京子	塩澤真洋 原文子
13	平成27年 1月23日(土) 13:00~15:00	2	駒ヶ根市立 博物館	8人 (2人)	博物館見学	地域講師(博物館館長)による市立 博物館の案内を通じて、市の歴史や 文化財への理解を深めた。	氣賀澤進	塩澤真洋 原文子
14	平成27年 2月14日(日) 14:00~16:00	2	ふれあいセンター	30人 (9人)	マイナンバー説明会	地域講師(行政書士)によるマイナンバー説明会を実施。	吉田靖史	福澤友美
15	平成27年 2月27日(土) 13:00~15:00	2	文化センター	10人 (2人)	味噌づくり体験	地域講師(味噌づくり)による味噌づくり体験を通じて、日本文化や日本の台所に関連する用語を学習。	青木一夫	塩澤真洋 原文子

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第6回 27年8月8日】

受講者であるタイ人の発案によるタイ料理教室を実施した。事前の準備で当日の段取りからレシピ作りをタイ人と日本語ボランティアで行い、当日の進行はタイ人受講者を中心に行った。

- 今回の料理教室を通じて、以下の効果があったと考えている。
 - ① 自国の料理の紹介、作り方の説明、レシピ作りを日本語で行うことで新しい日本語の習得につながった。
 - ② 地域住民と草の根レベルでの国際交流をする機会となり、多くの日本人に受け入れられた。







活動例②

【第14回 28年2月14日】

取組2「地球人ネットワークインこまがね」による日本語指導」の日本語ボ ランティアに受講者から「マイナンバー制度について知りたい」とニーズが寄せられたことが、今回の教室の契機となった。マイナンバーに関する日本語の習得のみならず、困った時に頼れる地域住民(行政書士)と面識を持てたことは、彼らが地域で生活をしていく上で安心を与えてくれると思われる。

より多くの外国人、地域住民に関心を持ってもらい巻き込めるように、取組1以外の関係者へも広報を行った。結果として、取組の枠を越えた参加者が集まったことは、本事業の目指す各組織・各ボランティア連携の好例となった。 駒ヶ根市の在住歴が長い外国人(オールドカマー)や、外国人を配偶者に持つ日本人を通訳者として依頼することで転入間もない外国人(ニューカマー)との接点を持つ機会ともなったことは望外の成果であった。





(8) 目標の達成状況・成果

当初目標のひとつであった「人が集う赤穂公民館を会場にすることで、地域住民とのコミュニケーションを図る場とする。」については、達成できたと考えている。具体的な成果としては、盆栽体験後に講師の方と連絡を取り合ったり、盆栽作品を見学に行ったりと、私的な交流を深めるなど実例が挙げられる。

もうひとつの目標であった「定住外国人が生活をする上で必要な日本語を学び、習得できるようにする。」は、上記の成果に比べると今一歩だったと思われる。取組1の受講者がオールドカマーが中心であったため、生活する上で必要とする日本語の学習意欲よりも、自身の日本文化への興味が勝っていた。そのため、ニューカマーに必要な生活する上で必要とする日本語を学べる機会の提供が少なくなってしまった。

(9) 今後の改善点について

地域での生活歴が長いオールドカマーと転入間もないニューカマーでは、必要とする生活情報・関心のある事柄に違いがあることを留意して事業計画を策定する必要がある。次年度以降の計画に、駒ヶ根市の生活情報を集中して学べる機会を提供することに特化した取組を盛り込みたい。

取組2:「地球人ネットワークインこまがね」による日本語指導

(1)体制整備に向けた取組の目標

【多岐に渡るレベルに対応した日本語指導】

- ・日本語初心者でも学べるやさしい日本語教室を開催することにより基本的な日本語を習得できるようにする。
- ・日本の生活に困らない一歩進んだ日本語教室(例:学校からの通知も読める等)を開催することにより、自立的な生活に近づく日本語を習得できるようにする。

(2)取組内容

【参加者のレベルに応じた日本語指導】

- ・取組1の受講者より、日本語でのコミュニケーション能力に不安を持つ方々の受講が多い。そのため、グループ学習ではなく、指導者1人に対して1から3名程度の少人数制でのきめ細かい学習指導を行う。
- ・日本語能力によるレベル分けは、当日の参加者の顔ぶれで対応する。
- ・日本語教材による指導。日本語能力検定試験対策を意識する受講者が多いので、文字語彙・文法・読解などの基礎的部分をレベルに応じた教材を使用して指導する。

(3)対象者

- ・主に駒ヶ根市に在住在勤の外国人及び近隣に居住する外国人
- ・地球人ネットワークインこまがね会員のボランティアスタッフ

(4)参加者の総数 40人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 40 人

【出身・国籍別内訳】

中国	3人 インドネシア	2人		
韓国	0人 タイ	5人・インド 1人	•台湾	2人
ブラジル	4人 ペルー	7人・イギリス 1人	・コロンビア	1人
ベトナム	5人 フィリピン	3人・チリ 1人	・ラオス	1人
ネパール	0人 日本	人・ロシア 1人	・マレーシア	3人

(5) 開催時間数(回数) 141 時間 (全 94 回)

(6) 取組の具体的内容

- ***	収価の芸体が		18 =	for the state of	T-400	T의 제F Tun 그프	北学力力	
回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導百名	補助者名
1	平成27年 4月14日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・自己紹介の練習、みんなの日本語初級 Ⅱ P13まで	松澤哉子	
2	平成27年 4月15日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第2課、雑談	藤井佳代	
3	平成27年 4月18日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・生活に必要な地名、施設名の学習・地球人ネットワーク配布文書の読み練習	小野和憲	
4	平成27年 4月21日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第2課練習A・ゴミの出し方、野菜の名前の学習	田中和子	
5	平成27年 4月22日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第2課復習・生活に必要な地名、施設名の学習	藤井佳代	
6	平成27年 4月25日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第3課	小野和憲	
7	平成27年 5月9日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第1課、第2課	小野和憲	
8	平成27年 5月12日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 第4課 「〜は」、「〜です」 ・みんなの日本語初級 I 第3課、第4課	松澤哉子	
9	平成27年 5月13日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第4課 復習	田中和子	
10	平成27年 5月16日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・自身の仕事、生活について話す練習を 通じてわからない単語の習得 ・みんなの日本語初級 II 第14課	藤井佳代	
11	平成27年 5月20日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第14課 復習	藤井佳代	
12	平成27年 5月23日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第5課	小野和憲	
13	平成27年 5月26日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	6人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第15課 ・みんなの日本語初級 II 第33課	松澤哉子	
14	平成27年 5月27日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・雑談しながら接続詞の使い方の修正 ・みんなの日本語初級 I 第5課 ・「あいうえお」、あいさつの練習	田中和子	
15	平成27年 5月30日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	10人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 第33課 P64の6 ・みんなの日本語初級 I 第15課 ・日時の学習「1日~31日」	藤井佳代	
16	平成27年 6月3日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級 Ⅱ 第6課 ・みんなの日本語初級 Ⅱ 第1課、2課 ・カタカナの書き取り	藤井佳代	
17	平成27年 6月6日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・「ます形」、「て形」の復習 ・みんなの日本語初級Ⅱ第15課復習、 第16課 ・助詞の学習 ・ひらがなの練習、みんなの日本語初級Ⅰ 第1課(フェリベ)	小野和憲	
18	平成27年 6月9日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第7課	松澤哉子	
19	平成27年 6月10日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・みんなの日本語初級ⅡP64まで・「ない形」の学習・みんなの日本語初級Ⅱ第6課・漢字の読み書き	田中和子	
20	平成27年 6月13日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 30課、病院の 受診方法について	藤井佳代	
21	平成27年 6月16日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P67	田中和子	
22	平成27年 6月17日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P73まで ・漢字練習帳5、6を使用して文章と年月日 の学習	松澤哉子	
23	平成27年 6月20日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ14~16課復習「を」と「は」の使い分け・「曜日」、「数字」の漢字練習	小野和憲	
24	平成27年 6月23日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P75まで	田中和子	
25	平成27年 6月24日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級 Ⅱ 第34課 ・みんなの日本語初級 Ⅱ P77まで	藤井佳代	
26	平成27年 6月27日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	 ・みんなの日本語初級 I P130~134 ・みんなの日本語初級 I 第9課導入 ・みんなの日本語初級 I 第8課 ・漢字練習(午前、午後、今日、前、後) 	小野和憲	

	平成27年		I			・みんなの日本語初級 Ⅱ I P88	
27	7月1日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・ひらがな、カタカナの書き取り練習 ・覚えた文法で京都へ行った時の話をする	松澤哉子
28	平成27年 7月4日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第9課	野口裕一
29	平成27年 7月7日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第9課、児童 向け「むかしばなし」の読み込み	田中和子
30	平成27年 7月8日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・ひらがな、カタカナの書き取り練習	藤井佳代
31	平成27年 7月11日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ15~16課、 手作り宿題プリント ・住所「長野県駒ヶ根市赤穂」の書き方 ・みんなの日本語初級ⅡP87	小野和憲
32	平成27年 7月14日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 12課まで ・みんなの日本語初級 II 第11課	伊藤勝
33	平成27年 7月15日((水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級ⅡP87まで ・みんなの日本語初級Ⅱ第26課 ・ひらがな、カタカナの書き取り練習	福澤友美
34	10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級II第26課 ・漢字練習「雨、雲、雪、木、林、森」 ・ひらがな「あ行とか行」が頭文字の単語 発表	小野和憲
35	平成27年 7月21日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・自国(ロシア)について発表	松澤哉子
36	平成27年 7月22日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P92まで ・みんなの日本語初級 II 第12課	福澤友美
37	平成27年 7月25日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第12課復習 ・みんなの日本語初級 II 第26課	野口裕一
38	平成27年 8月22日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第26課 ・ひらがな「さ行」が頭文字の単語の発表	田中和子
39	平成27年 8月25日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・「い形容詞」、「な形容詞」の活用	松澤哉子
40	平成27年 8月29日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・漢字練習「外、内、会場」 ・ひらがね、カタカナの使い方	小野和憲
41	平成27年 9月1日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級ⅡP107	松澤哉子
42	平成27年 9月2日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第13課	福澤友美
43	平成27年 9月5日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級ⅡP108練習・ひらがなの練習、みんなの日本語初級Ⅰ 第1課	小野和憲 田中和子
44	平成27年 9月8日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・漢字検定10級の教材で漢字練習	藤井佳代
45	平成27年 9月9日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・JLPT N4 語彙練習	藤井佳代
46	平成27年 9月12日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 26課 「〜なんです」、「〜たんですか」の使い方 ・漢字練習帳初級1の学 II ・みんなの日本語初級 II 第13課、 日本の地理	小野和憲 松澤哉子 伊藤勝
47	平成27年 9月15日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・漢字検定10級の教材で漢字練習	福澤友美
48	平成27年 9月16日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・JLPT N4 語彙問題集	小野和憲 伊藤勝
49	平成27年 9月19日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	6人	日本語教室	・JLPT N4 文字、語彙の学習 ・漢字練習帳初級3、4の学習 ・みんなの日本語初級 I 英語版 Lesson1 ・JLPT N4 語彙練習、JLPT願書記入	松澤哉子 野口裕一
50	平成27年 9月26日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・間違いやすい漢字の解説と練習 「頭、顔、病、曜、濯、母、海」 ・JLPT N3 文字、語彙の学習 ・みんなの日本語初級Ⅱ第26課	田中和子 福澤友美
51	平成27年 9月29日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・運転免許取得の苦労話を日本語でする	野口裕一
52	平成27年 9月30日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 英語版 P13まで ・漢字練習	田中和子 藤井佳代
53	平成27年 10月3日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	8人	日本語教室	 漢字をストーリーで覚える 「特急、持ち物、買う、員、他」 みんなの日本語初級 I 第26課 みんなの日本語初級 I 英語版 Lesson2 JLPT N4 語彙練習 	小野和憲 松澤哉子 野口裕一
54	平成27年 10月6日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P93まで ・カタカナの書き取り練習	福澤友美
55	平成27年 10月7日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第26課復習 ・JLPT N4 語彙練習	田中和子
56	平成27年 10月10日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える 「午、牛、後、ご飯、飯田、年」・JLPT N4 予想問題集 P56まで・みんなの日本語初級 II 第26課	田中和子 藤井佳代

	平成27年					・ひらがなとカタカナの書き取り練習、	
57	10月13日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	自己紹介練習、趣味の言葉の習得 ・みんなの日本語初級 I 第1課練習A	藤井佳代
58	平成27年 10月14日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 英語版 Lesson1 ・ひらがなとカタカナの書き取り練習、 自己紹介練習、趣味の言葉の習得	藤井佳代 伊藤勝
59	平成27年 10月20日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 Ⅱ P97まで ・みんなの日本語初級 I P13、 カタカナの発音練習	松澤哉子 福澤友美
60	平成27年 10月21日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・「~は~です」の文型を使いながら会話 練習・会社のスローガンをつくる	伊藤勝
61	平成27年 10月27日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・新日本語「生活の漢字」を学習 ・みんなの日本語初級IIP98まで ・みんなの日本語初級I英語版 Lesson1	松澤哉子
62	平成27年 10月28日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・自分と家族の名前、住所をひらがなと カタカナで書く練習 ・JLPT N4 語彙練習	田中和子 福澤友美
63	平成27年 10月31日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	6人	日本語教室	・「数字」の学習 ・みんなの日本語初級 II 第13課復習 ・ひらがな「あ行」の書き取り練習	小野和憲 野口裕一
64	19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I P19 ・雑談をしながら文法、語彙の確認 ・住所、名字の漢字練習	松澤哉子 野口裕一
65	平成27年 11月7日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 第1課・会社での言葉遣い	小野和憲 福澤友美
66	平成27年 11月10日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P100まで	田中和子
67	平成27年 11月11日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	5人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 第2課、3課 ・JLPT N4 聴解練習	田中和子 藤井佳代
68	平成27年 11月14日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える 「連続、頭、顔、等」 ・みんなの日本語初級 II 第27課 ・みんなの日本語英語版P20	小野和憲 藤井佳代
69	平成27年 11月18日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・JLPT N4 聴解練習	伊藤勝
70	平成27年 11月21日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・JLPT N4 予想問題集 P66まで(スプリ) ・家族の名前と住所の書き取り練習 ・みんなの日本語初級 I 第3課、4課	松澤哉子 福澤友美
71	平成27年 11月25日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・JLPT N3 問題集	伊藤勝
72	平成27年 11月28日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・みんなの日本語初級 Ⅱ 10課、 駒ヶ根市内の説明のしかた ・みんなの日本語英語版P25	松澤哉子 野口裕一
73	平成27年 12月2日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第14課	松澤哉子
74	10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える「動、働、週」 ・みんなの日本語初級Ⅱ第14課 ・みんなの日本語初級Ⅱ第27課	野口裕一
75	平成27年 12月8日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P102まで	伊藤勝
76	平成27年 12月9日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 I 第20課	福澤友美
77	平成27年 12月12日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	7人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える「薬、楽、師」 ・みんなの日本語初級 II 第14課 ・みんなの日本語初級 II 第27課 ・住所の書き取り練習、会話練習	松澤哉子野口裕一
78	平成27年 12月16日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・ひらがな書き取り練習 ・みんなの日本語初級 I 第20課	伊藤勝
79	平成27年 12月19日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	6人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える「漢数字、暗」 ・みんなの日本語初級 I 第4課、 ひらがな書き取り練習 ・みんなの日本語初級 I 第20課	松澤哉子福澤友美
80	平成28年 1月16日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・ひらがなの書き取り練習 ・仕事で使う用語「メッキ」等の学習	野口裕一
81	平成28年 1月20日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II 第27課 ・JLPT N4 予想問題集 P1~35まで	福澤友美
82	平成28年 1月23日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	4人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える「火、工」・JLPT N4 予想問題集 P36~71まで・みんなの日本語初級 II 第27課	松澤哉子
83	平成28年	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・みんなの日本語初級Ⅱ第26課 ・ひらがなの書き取り練習	伊藤勝
84	平成28年	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・JLPT N4 予想問題集 P1~71まで復習・にほんご90日漢字ノート	福澤友美
85	平成28年 2月3日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 Ⅱ 第27課 ・ひらがなの書き取り練習	伊藤勝
86	平成28年 2月6日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・ひらがなの書き取り練習 ・みんなの日本語初級Ⅱ第26課	野口裕一
87	平成27年 2月9日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・みんなの日本語初級 II P103まで ・にほんご90日漢字ノート P42まで	松澤哉子
88	平成28年 2月10日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	3人	日本語教室	・カタカナの書き取り練習・JLPT N4 予想問題集 P1~71まで復習	福澤友美
						+	<u> </u>

89	平成27年 2月16日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・みんなの日本語初級ⅡP110まで ・にほんご90日漢字ノートP55まで	松澤哉子	
90	平成28年 2月17日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・JLPT N4 文法 ・みんなの日本語初級 II 第25課復習	伊藤勝	
91	平成28年 2月20日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	6人	日本語教室	・漢字をストーリーで覚える 「左右、友、可、何」 ・JLPT N4 予想問題集 P76まで ・ひらがなあ行、か行、さ行が頭文字の 単語の発表 ・JLPT N3 文法 ・みんなの日本語初級 II 第26課復習	野口裕一	
92	平成27年 2月23日(火) 13:30~15:00	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・にほんご90日漢字ノート P60まで	松澤哉子	
93	平成28年 2月24日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセンター	2人	日本語教室	・JLPT N3 文字語彙 ・みんなの日本語初級 Ⅱ 第24課復習	伊藤勝	_
94	平成28年 2月27日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター	1人	日本語教室	・ひらがなの書き取り練習 ・みんなの日本語初級 II 第26課	福澤友美	

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第12回 27年5月23日】

日本語教室後の一品持ち寄り交流会などを通じて、受講者とボランティアの交流を深めている。また、こういった時間 の雑談により日本語の自然な使い方を学ぶ機会となっている。



活動例②

【第46回 27年9月12日】

みんなの日本語を使用して学ぶグループ、日本の地理について勉強するグループ、漢字練習に特化するグループと 受講者のレベルとニーズに添ったグループ分けと指導を行った。この日本語教室が目標としている体制の好例。



(8) 目標の達成状況・成果

当初目標の「日本語初心者でも学べるやさしい日本語教室を開催することにより基本的な日本語を習得できるようにする。」については達成できたと考えている。新規ボランティアの増加もあって、受講者の日本語レベルに応じた個別指導ができているため、受講者の学習希望に添いやすい体制となっている。

「日本の生活に困らない一歩進んだ日本語教室(例:学校からの通知も読める等)を開催することにより、自立的な生活に近づく日本語を習得できるようにする。」についても、手厚く対応できていると感じている。学校からの通知の読み方や仕事に必要な日本語等の指導要望があった際に、教室で取り上げることもあれば、時間外に情報交換したりと支援体制ができている。

(9) 今後の改善点について

以下の点への対応が求められている。

- ・ボランティア間の日本語教授レベルと意識にばらつきがある。また、外国人との接し方に慣れてないボランティアもいる。
- ・日本語教授法について助言したり、受講者の学習状況を把握して学習方針を策定する仕組み。
- ・新たなボランティアへガイダンスを行えるような体制づくり。

取組3:日本語教育人材の育成

(1)体制整備に向けた取組の目標

・駒ヶ根市外の地域の状況や取組を紹介し、日本語教育事業に参加してもらえる新たな市民ボランティア掘り起こし。 ・市日本語教育事業に参加する市民ボランティアの指導力と、外国人とのコミュニケーション方法の向上を図る。

(2)取組内容

- ・日本語教育事業で指導にあたるのは、いずれも市民ボランティアである。そのボランティアのレベルアップを図るための研修を年間3回(各3時間)実施する。
- ·研修内容は日本語教授法、多文化共生や地域の実情に関する専門知識及び外国人に寄り添うための姿勢等、 必要となる内容を行う。
- ·研修参加者は広く募り、市民ボランティアを掘り起こす。ひいては、将来に渡って発展できるような基礎作り及び多 文化共生の理解を市民に広く周知する。

(3)対象者

・市内在住在勤及び近隣市町村ボランティア

(4)参加者の総数 24 人(延べ人数ではなく, 受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数

)

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	•
ブラジル	人	ペルー	1人	•
ベトナム	人	フィリピン	人	•
ネパール	人	日本	23人	

(5) 開催時間数(回数) 9 時間 (全 3 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年 9月5日(土) 14:00~17:00	3	駒ヶ根市駅前 ビル市民交流 活性化センター		地域における外国籍住 民との関わり方につい て	・地域課題と日本語教育 (日本語教室の役割/日本語ボランティアの役割)・受講者のニーズ把握・持続可能な社会のために	堀永乃	
2	平成27年 11月14日(土) 14:00~17:00	3	赤穂公民館		外国籍住民への日本語 の教え方	・最初に教えること ・外国籍住民の学びたいこととは (生活上のニーズ把握) ・日本語教室に来る理由・メリットとは ・教案作り	堀永乃	
3	平成28年 2月13日(土)	3	赤穂公民館		日本語教室のこれから を考えよう	・松本市の日本語教室の現状と取組 ・駒ヶ根市の日本語教室の現状と取 組のふりかえり〜現場からの声〜 ・「明日から始められること」「これから 巻き込めるひと」を探そう	佐藤佳子	

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第1回 27年9月5日】

昨年度から継続して受講される日本語ボランティアと、新たにボランティアを志す方々の双方の学習意欲を満たせる内容とした。具体的には、国内の日本語教室の状況と課題、地域の日本語教室に求められる役割と機能、外国人のニーズ把握について、豊富な実例を基にした研修を実施した。





活動例②

【第3回 28年2月13日】

多文化共生の先進地である松本多文化共生プラザの活動の紹介及び、駒ヶ根市での取組をKPT法によるふりかえることを中心とした研修を実施した。

取組2の中心となって活動している「地球人ネットワークインこまがね」に所属する日本語ボランティアが参加者の半数を占めていたので、普段の組織・個人のふりかえる良い機会となった。参加者からは、「活動の現状・課題の把握ができ、解決策を協議できて良かった」との声が寄せられている。







(8) 目標の達成状況・成果

当初目標のひとつであった「日本語教育事業に参加してもらえる新たな市民ボランティアの掘り起こし」だが、本研修への参加者は24名となり、目標を下回ってしまった。参加者の3分の2を占める常連組(毎回参加)以外は、毎回入れ替わる状況で、掘り起こしたものの継続した参加を促せなかった。

「駒ヶ根市日本語教育事業に参加する市民ボランティアの指導力と、外国籍住民とのコミュニケーション方法の向上を図る。という目標は、一定の成果を上げられたと感じている。特に第3回目は、既にボランティア活動を開始している組織と個人の活動をふりかえることを目的としていたので、各々が現状把握と課題解決法を見出していた様子がアンケートの回答でも窺えた。

(9) 今後の改善点について

毎回参加してくれる常連組の学習意欲を満たす内容(日本語教授法・活動のふりかえり)に重点を置きすぎた。そのため、日本語ボランティアに興味を持って受講した方々の導入という面ではハードルが高い内容であった。掘り起こした新たなボランティア全員を研修に定着させて、その後の日本語ボランティア活動へと促すことができなかった。

たなボランティア全員を研修に定着させて、その後の日本語ボランティア活動へと促すことができなかった。 次年度以降は、常連組から寄せられている「日本語教授法の研修」に特化した取組と、新たなボランティアが継続して受講したいと感じる内容の取組で分けて実施することを検討する。

取組4:日本語学習発表会

(1)体制整備に向けた取組の目標

- ・発表会に向けて語学力の向上を図る。
- ・地域住民との交流の中で母国及び自分自身をPRする。
- ・地域住民に向けて活動の発信の場とする。
- ・外国人学習者の発表を通じて、日本語教育の必要性を地域住民に理解してもらう。

(2)取組内容

- ・当市で開催される国際協力イベントである「みなこいワールドフェスタ」の中で、日本語学習の発表の場を設ける。 取組1と2の受講者が参加し、取組1から3のボランティアも連携して準備する。
- ①日本語で母国や日本での体験等スピーチ大会を行う。
- ②地域住民との交流を行う。
- ・日本語学習発表会に参加してくれた方々ヘアンケートを実施し、学習発表会の成果を検証する。

(3)対象者

- ·日本語学習者
- •日本語学習者以外の外国人
- 市民ボランティア
- •地域住民
- (4)参加者の総数 46 人(延べ人数ではなく, 受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数

11 人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	1人	
韓国	人	タイ	1人・コロンビア 1人	
ブラジル	2人	ペルー	4人・	
ベトナム	人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	35人	

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年 10月17日(土) 10:00~13:00	3	宮田村 村民会館	28人 (10人)	ペルー文化紹介 (料理教室と文化紹介)	・ペルー料理を料理教室という形式で紹介し、一緒に作ることで交流。 ・料理を食べながら、ペルーの紹介スライドを用いて文化を紹介・	氣賀澤博徳	福澤友美
2	平成27年 10月18日(日) 10:00~13:00	3	ふれあい センター	20人 (1人)	外国人と共に行う 災害時図上訓練	・災害発生時から避難前後の動き 方、避難所で予想される問題などを 外国人と地域住民が一緒になって、 災害図上訓練を通じて検討した。 ・図上訓練後は、非常食の試食を 行って外国人と地域住民が交流した。	今井家子	氣賀澤博徳

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第1回 27年10月17日】

当市で開催される国際協力イベントである「みなこいワールドフェスタ」の週間イベント内の「地球の料理教室」と銘打って実施した。取組1・2の受講者であるペルー人が務め、ペルー文化の紹介(料理教室・ペルー事情など)を行った。







活動例②

【第2回 27年10月18日】

災害発生から避難活動前後、避難所での生活までをシミュレーションする図上災害訓練を行った。長野県看護大学教授(災害看護専門)が講師を務め、同大学学生、日赤奉仕団員、市の危機管理係長など防災関係者と外国人を含む地域住民が一緒に図上訓練を通じて意見交換をした。

図上訓練後は、非常食の調理から試食を全員で行い、交流を深めた。





(8) 目標の達成状況・成果

多くの地域住民と交流する中で自身・自国の紹介などをすることで、参加者の語学力向上の助けになったと思われ

る。日本語教室に関わったことのない地域住民が、料理や防災といった身近な話題をテーマにしたイベントで 外国人

と交流することができた。

参加した外国人には、災害時の自身の行動パターンだけではなく、同国人の思考・災害への備え・食習慣なども発

表してもらった。それにより、避難所生活時に持ち上がる外国人との生活習慣の違いによる軋轢などへの事 前理解が

進んだ。被災時に無駄な軋轢をなくし、共助の精神で助け合える環境づくりのためにも、外国人への日本語教育の必

要性のみならず、日本人も異文化理解に取り組まなくてはならないことを理解してもらえた。

(9) 今後の改善点について

多くの地域住民に参加してもらえたが、肝心の外国人の参加者数を伸ばせなかった。外国人の興味をひく 企画、広

報手段、日程設定など工夫が足りなかった。次年度以降は、より多くの外国人の参加を促し、上記の成果を 実感して

もらえる取組へと根本的に改善していく必要がある。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

・市及び市民団体が運営している日本語教室が協働・連携して、日本語を母語としない外国人に対する効果的な日本語教育事業を展開する。また、異文化理解力の向上を図り、日本人と外国人とが円滑な市民生活を創出するための多文化共生のまちづくりを目指す。下記の方針が、年度でどれだけ達成できたかの検証方法を策定する。

- ・日本語初心者である外国籍転入者が学べる場としたい。
- ・ステップアップとして生活していく上で必要な日本語を学べる場としたい。
- ・日本の文化及び日本人と共同で生活するための拠点づくりの場としたい。
- ・日本人も外国人との交流を望む場としたい。

(2) 目的・目標の達成状況

- ・前年度に引き続き赤穂公民館を活用したことで、公民館の講座を行っている市民を講師として日本語教育事業に関わってもらうことができた。また、公民館活動に参加する地域住民を料理教室等の参加者として招くことができ、広く交流ができた。外国人受講者が講師となってスペイン語講座を赤穂公民館で開講した。受講者と地域住民の新たな交流の機会が増えた。受講者のアンケート結果では、概ね好評を得ている。
- ・市民団体である地球人ネットワークインこまがねによる日本語教室(取組2)は、受講者と新規ボランティアが漸増してきている。消耗品や教材の購入支援だけではなく、市の広報媒体(郵送、市報、有線放送、HP、SNS等)を利用してもらうことで情報発信力が高まった。受講者のアンケート結果では、大半の受講者から日本語能力に向上があったとの評価を得ている。
- ・多くの市民に日本語教育事業に関わっていただくことができ、また周知広報を行ったことで、日本語教育に対する市民の理解が深められた。特に、長野県看護大学の「多文化共生看護学」受講生に取組1、2、4に参加してもらうことで、日本語教育の内容と関係者の多様化が図れた。ただ、全体の体制整備については端緒についたばかりで、これからの体制整備に更なる努力を要することが、運営委員へのアンケートから伺えた。

(3) 地域における事業の効果,成果

- 市内で日本語教育事業に関して個別で動いていた赤穂公民館での講座と市民団体での日本語教室、それぞれが長所と短所を補完しあえる連携体制の基礎ができた。
- ・市内では外国人と日本人が交流することは少なく、お互いの理解が進む機会はあまりなかった。地域講師が外国人に日本語や日本文化を教え、外国人が日本人に母国語や母国の文化を伝える機会を設けることができたことで、今までにない人の交流が実現した。
- ・ボランティア研修を通じて新たな日本語指導ボランティアの掘り起こしと共に、既存ボランティアの日本語指導技術と組織運営の知見が向上した。特に、多文化共生の先進地域・組織の取組を知ることと、担当者との面識を得たことで今後の各ボランティアと組織の活動内容が充実する契機となったと思われる。
- ・日本人が外国の文化や言語を習うことで地域住民の国際化にも寄与できた。

(4) 地域の関係者との連携による効果,成果

- ・赤穂公民館で講座を担当されている講師の方には、赤穂公民館の担当者を通じて連絡する体制を構築した。
- ・市民団体とは事務局を通じて連絡調整を実施し、運営委員会へ3名参加してもらうことで情報と課題の共有を図った。
- ・地域の各種専門家(行政書士、通訳者等)は市の事業担当者が仲介して連携、協力体制を構築した。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

- ・日本語教室の案内を郵送、有線放送等の既存方法で周知すると共に、市のHPとFacebookへ掲載する等の手法も実施 した。
- ・年度の後半では、各コミュニティの顔役のFacebookから情報を発信してもらったり、LINEによる呼びかけをする等、内容の深化を図った。

(6) 改善点、今後の課題について

①現状

・平成27年度は、地域住民が集う公民館で日本語教育事業を実施したところ、市民と共に社会教育活動を取り込んで 開

催することで受講者の関心が高まった。しかしながら、仕事先の日本人と同国人としか交流をしない・できない外国籍 住

民を巻き込むにはいたっていない。これには、最低限の日本語能力を有していないこともあるが、仕事先や居住地周辺

の日本人との軋轢により日本人・日本社会へ不信感を持ってしまったことが原因として考えられる。

・市には市民団体が運営している「地球人ネットワークインこまがね」(以下、地球人と呼称)という日本語教室がある。 こちらは、相手に合わせて対面方式で読み書きを教えていることから、初心者も受入れやすい。その運営には、外国籍 住民が複数関わっている。彼らを通じて今まで地域社会に関わろうとしなかった人々の参加も増えてきている。彼らと の

交流窓口としての役割が年々増してきている。

②今後の課題

- 1)今まで地域社会に関わりを持ってこなかった外国籍住民の参加者が伸び悩んでいる。
- 2) 外国人が日本語教室に求めるニーズの多様化により、個別対応がより求められている。
- 3)地球人の受講者・ボランティアの増加により、各員の意思疎通、受講者の情報共有に齟齬をきたしはじめている。
- 4)新たなボランティアへ外国籍住民との接し方、日本語教授法等を学べる体制の不備。意識、技術レベルの不均質化。
- 5)上記課題の解決に総合的に関われる地域在住のコーディネーターの不在。

③今後の課題解決に向けた活動予定

- 1)各国のコミュニティアの顔役を事業に巻き込み、情報発信に協力してもらう。
- 2)各日本語ボランティアの知見を高めると共に、市民団体の組織運営の参考となる研修会を実施する。
- 3)日本語ボランティアから要望が上がっている日本語教授法の研修会を定期的に実施する。
- 4)上記2)と3)を通じて、コーディネーターを志す人材を触発していく。

(7) その他参考資料

- ・開催チラシ、募集チラシ
- •取組1受講者用教材、参加者用資料